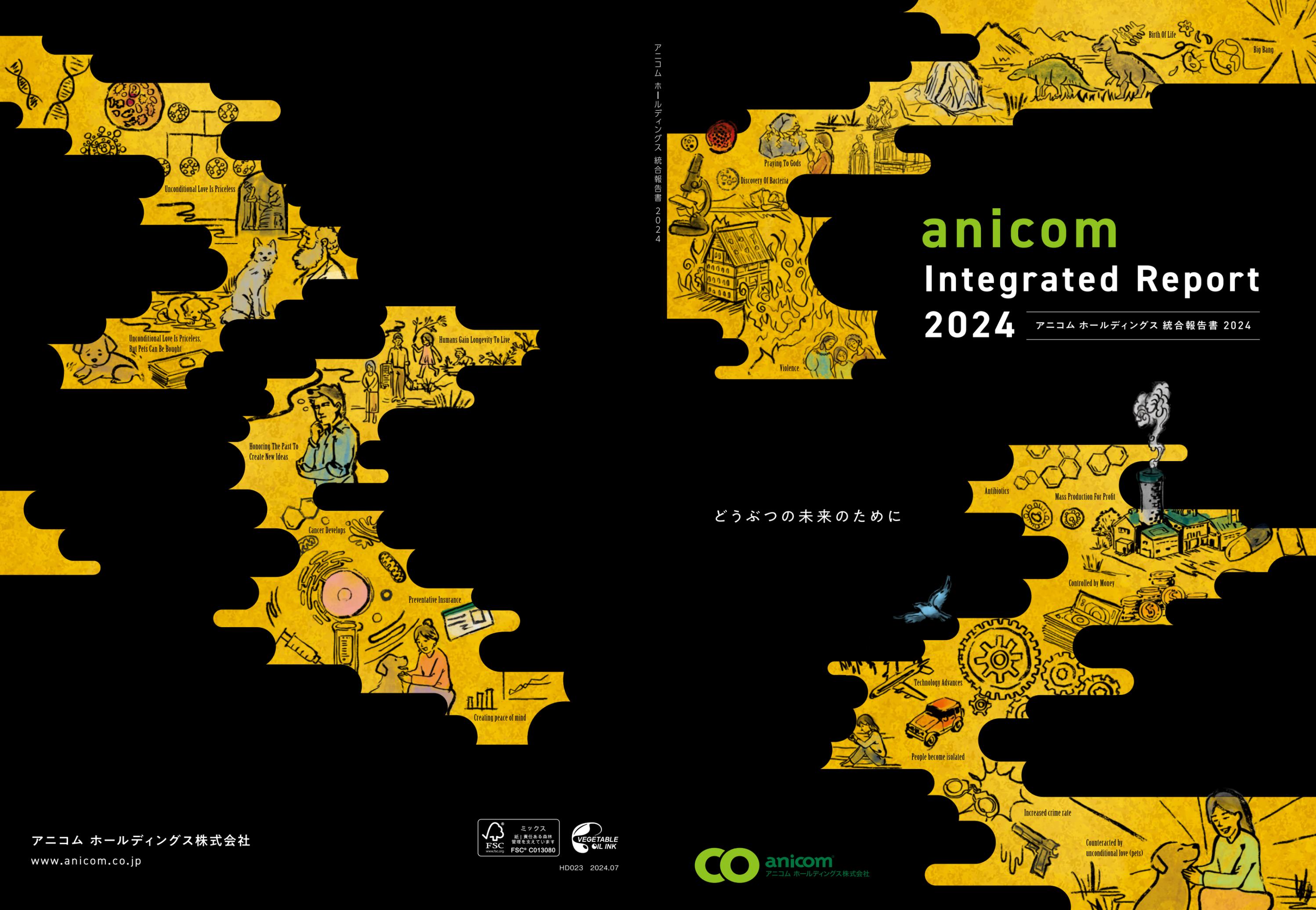


anicom Integrated Report 2024

アニコムホールディングス 統合報告書 2024

どうぶつの未来のために



ペット業界が 果たすべき使命

ペットは1万年以上前から、人間に最も身近な存在として、共に生命の歴史を刻んできました。

この歴史の中で、ペットの存在は、動物という種を超えて、命を相互に共存するかけがえのないものになってきています。

その一方で、日本は世界から「動物愛護後進国」と呼ばれるなど、ペットの虐待・遺棄が増え続けており、殺処分がまだに行われています。

そのような課題に丸となって取り組むとともに、

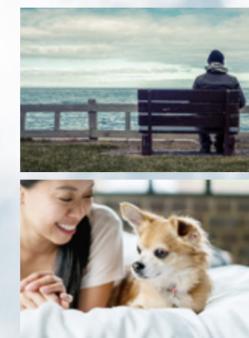
ペットが尊厳に満ちた生活を送れるようにすることが、私たちペット業界が果たすべき使命だと考えております。



● ペットが孤独を癒す

現代社会においては、テクノロジーの進歩により文明が発展し、人間が独りでも生きていける便利さや自由を享受できるようになりました。しかしながら、その結果として、誰かに必要とされ愛され愛されることを通じて、生命の繋がりを認識する機会が失われ、人間が生命としての自覚を失い孤独感に苛まれるリスクが高まっております。そのような現代社会に生きる私たちに「無償の愛」を伝えてくれる存在がペットなのです。

ペットは、現代社会の発展によって生じた孤独感を解消し、生命の根源である生きる力を生み出す唯一の存在となり、ペット業界は、世界的・社会的な問題である「孤独」を解決でき得る唯一無二の業界になったと考えています。



● ペット産業が投資対象に

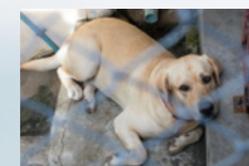
我が国は、「失われた30年」とも評される経済の低迷を経験してきました。しかしながら、この間、ペット業界は着実な成長を続けております。かつては、ペット業界は、いわばペット好きによる「趣味の世界」とされておりましたが、今や多くの企業が、ペットをキーにしたビジネスを展開し始めており、「ペット」という枠を超えて、他の業界との繋がりを生むことで社会に新たな価値を提供できる業界に変貌しつつあります。



● 殺処分ゼロに向けて

日本は世界から「動物愛護後進国」と呼ばれています。その要因は一体何なのでしょう？それは、日本人は、他の国に比べ、殺人事件や凶悪事件が少なく、心優しい国民性であるにもかかわらず、動物への虐待・遺棄が増え続けており、その結果として、殺処分が発生している点だと考えます。ペットと出会ったその日から、誰もがこのような結末を望むことはありません。

また、近年頻発する自然災害により、予期せずペットとの生活を引き裂かれ、再会することが叶わないというケースも増えており、飼い主の悪意が存在せずとも殺処分に繋がる可能性があります。



ペット業界は、このような課題に丸となって取り組むべきと考えており、人間の孤独を癒し、愛され愛されることの喜びや命の繋がりを与えてくれるペットが尊厳に満ちた生活を送れるようにすることが、私たちペット業界に課せられた使命だと考えております。

TOP MESSAGE

『保険・医療データを活用した 予防型保険という新たな価値の提供』で ペットも人も笑顔にしていきます。

アニコム ホールディングス株式会社
代表取締役

小森 伸昭

アニコムこそペット業界の負の呪縛を解く存在

昨今、世の中では急激に不都合な真実が噴出していると感じます。ペット業界においても、本来、動物愛護管理法に基づき誰よりも動物愛護を掲げるべきであるペット業界が、長年動物愛護に反していたという事実が明るみに出てきました。

ペットの歴史にも、不都合な真実があります。生命の強さ・進化にとって最も重要なことは、近親交配の禁止です。実際に、今から約3800年前に制定された世界最古の法典ともいわれるハンムラビ法典においても禁忌とされていました。それにも関わらず、どう猛なオオカミやヤマネコから、人間にとって好ましい従順でかわいい形質を固定するため、人間はいわば虐待ともいえる近親交配を1万年もの間ペットに課してきたのです。例えば、胴長短足のダックス・フンドなど個性際立つ品種を確立させるために、その特徴がより顕著に表れるよう近親交配を繰り返してきまし

た。その結果、ペットは他の生物に比べて非常に血が濃くなっていると同時に、遺伝的脆弱性も色濃く受け継いでいます。1万年もかけて背負わされてきた遺伝的脆弱性は、そう簡単には取り去ることはできません。ペット業界は、こうした不都合な真実に目を背けることなく真摯に向き合わなければなりません。そして、それを解決するのが私たちアニコムグループの使命であると考えています。

アニコムグループはペットのライフステージの川上から川下まで幅広く事業を展開しています。最川上のブリーディングで適正な交配を行うことで健康なペットを生み出し、川中ではペットの品種や年齢等に応じた病気の発症確率や原因を明らかにし、そのソリューションを提供していくことが私たちアニコムグループに課せられた役割と考えています。私たちは、人間が1万年の間ペットに対して行ってきたことを贖罪する覚悟で挑みます。





家族であるミーアキャットの「みーたん」と

アニコムが目指す予防型保険会社とは

ある統計では、自動車保険が普及している国ほど、事故が多いとされています。これは事故を起こしても保険会社が補償してくれるからです。保険は、加入さえすれば事故発生時に多額の負担を背負わなくてもよいという安心を与えてくれますが、人々の注意深さや良心を麻痺させ慢心を与えている、ともいえます。本来、保険会社は蓄積されたデータを用いて、事故の予防に力を注ぐべきではないでしょうか。

アニコムグループは、アニコム損保の年間430万件を超える保険金請求データをはじめ、アニコムパフェが提供する動物病院カルテ管理システムの診療データ、遺伝子検査事業で得られた遺伝子データ、腸活事業で解析した腸内フローラのデータなど、ペットに関する様々なビッグデータを保有しています。これらのビッグデータを統合的に分析・

解析することにより、ペットが病気になる真の原因を分析し、病気になる前に対処できるようにすることを目指しています。

そのキーとなるものは免疫力だと考えています。私たちの持つビッグデータの分析により、免疫力に密接に関わっているのは口腔内環境と腸内環境であることが明らかになってきました。例えば、歯周病に罹患している犬は、そうでない犬に比べてその後の全ての疾病の罹患率が約1.4倍になることが分かりました。同様に、猫においても、歯周病に罹患している場合はその後の全ての疾病の罹患率が約2.7倍になっています。すなわち、犬・猫にとっても「歯周病は万病の元」であることが科学的にも実証されたと考えています。

アース製薬株式会社とアニコムグループが共同開発した、ペット専用歯磨きジェル『CRYSTAL JOY (クリスタルジョイ)』では、MA-T®と呼ばれる細菌やウイルスを除去する技術を日本で初めてペット用品に応用しました。口臭は歯周病のサインとされていますが、利用者の70%以上がペットの口臭の減少を実感しており、その効果が実証されつつあります。



また、アニコムグループでは、腸内フローラのデータをもとに、腸内から検出される細菌の占有率や組み合わせをパラメーターとして数値化した、免疫力の指標ともいえる「健康スコア」を考案しました。この腸内フローラの「健康スコア」が高いほど損害率が低い結果となっています。

人間を含む全ての生命は、季節など環境に合わせて多様な食材を摂り入れています。これが腸内細菌の多様性を上げ、免疫力の向上に繋がります。一方で、犬・猫に与えられるのは、基本的に毎日ドライフードです。こうした食刺激の不足が免疫力の低下を招き、ひいては、様々な疾病の罹患率を高めることにつながってしまうのです。

アニコムパフェでは、これまでも犬種ごとに必要とする

栄養素に配慮した「みんなのごはん」や、腸内フローラ測定や遺伝子検査の結果に応じたオーダーメイドフード「きみのごはん」を販売してきました。さらに今年からは、1日で12品目以上、7日間で55品目以上の食材を摂取することができる犬用トッピングフード「7Days Food」の販売を開始し、実際に腸内フローラの多様性が向上した事例が報告されています。

今後も、アニコムグループが保有するビッグデータを分析・解析して病気の真の原因を特定し、さらに予防のためのソリューションを開発・提供することで、「入って健康になる保険」を実現したいと考えています。

自己成長を促す「一人一特許戦略」の推進

人材育成においては、難解な社会的課題を効果的に解決する組織を作っていくために、社員自身の自発的な探求心や使命感をベースとして業務遂行していける仕組みづくりを行っています。様々な個性を持った多様な人材が、自由な発想を生み出し、業務により本気になって取り組むことで、人間の集合知の力をさらに引き出し得るのです。

これを可能にするために、アニコムグループ独自の仕組みとして、「一人一特許戦略」を実行しています。これは、職務遂行における個々人の努力やそこで得られた社会を豊かにする発見等を、その個々人の存在と紐づけ、特許という形で社会に広く伝達・認知させるというものです。これにより、全社員が、今の時代を共に笑い、泣き、悩みながらも生き抜いた証を、特許という社会的遺産に昇華させることで、個々人の社会人人生についてもさらに意味を与え得る人事戦略を推進しています。個性あふれる多様な人材の豊かな発想から生み出された知的財産が、アニコムグループの成長に繋がり、さらには社会を豊かにするのです。

人とペットが「笑顔」で過ごせる社会のために

現代社会のテクノロジーの進歩は、人々を豊かにし、飢えや病気といった様々な苦難から人々を解放してきました。その一方で、人々は社会との繋がりが希薄化することで孤独を感じるようになり、それが生産性の低下や犯罪率の上昇といった社会問題にまで波及していると考えていま

す。

ペットは、この問題に対するカウンターパートになる存在です。ペットの無償の愛が、飼い主の活力・生産性の向上に繋がり、ひいては、ペットこそが経済成長の中心ともなり得るのではないのでしょうか。

アニコムグループは、ペット保険事業を中核に据えながら、ペットの健康促進に資する事業を多角的に展開してきました。その結果、ペットに関するデータを日本で最も保有する企業に成長したと自負しています。だからこそ、アニコムグループはペットの命に対して真摯に向き合う責務があると考えています。真の生物多様性とは何か、ペットの存在意義は何か、ペットを愛するとはどういうことか、などの哲学的探究を行うとともに、これまで蓄積したビッグデータを科学的に分析・解析して予防のためのソリューションを社会に提供することで、人とペットが「笑顔」で過ごせる社会を実現してまいります。



アニコムの使命

「予防」を探求することで、 人とペットが「笑顔」で 過ごせる社会を つくること

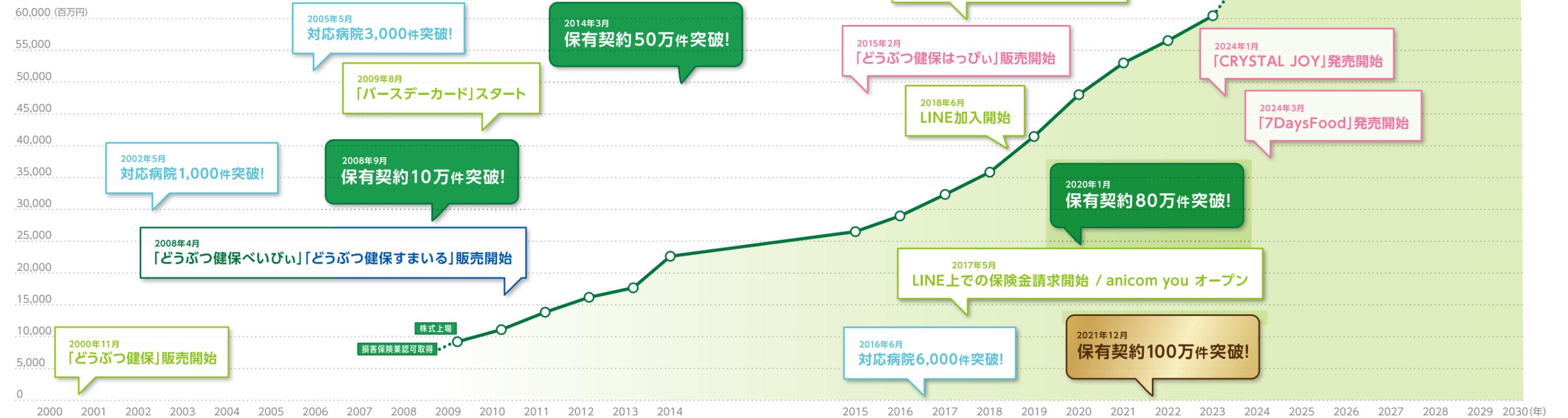
ペット業界がこれらの使命を果たしていくためには、言葉が話すことができないペットの生きる喜びの表現型である「笑顔」を増やすことが不可欠であると考えています。アニコムグループでは、あらゆるデータからケガや病気を分析し、飼い主様とペットへ、たくさんの笑顔を届けていくことで、入って健康になる予防型保険会社グループを目指します。



アニコムの歩み

「アニコム」という社名はラテン語で「命、魂」を意味する「anima」からとられた「ani」と「相互理解」を意味する「communication」の「com」を足し合わせ、「命あるものがお互いに理解し、ともに一つの目的に向かって力を合わせることで、これまで不可能とされていたことが可能になる」という想いがこめられており、この想いが当社の事業活動の原点となっております。創業の想いを脈々と継承しながら、時代の変化に合わせて自ら変革してきたことで、当社は持続的な成長を遂げてきました。お客さまへの付加価値の提供と変容する社会課題の解決を追求してきた結果が、現在のアニコムの強みに繋がっています。

■ 経常収益等成長の軌跡を表す指標



- | | | | | | |
|--|--|---|--|---|---|
| <p>2000年
7月 (株)ビーエスピー設立</p> <p>2004年
12月 アニコム パフェ (株) 設立</p> <p>2005年
1月 (株)ビーエスピーからアニコム インターナショナル(株)に社名変更
2月 アニコム フロンティア(株) 設立
6月 コールセンター開設
7月 近畿支店開設
10月 北海道支店開設
九州支店開設</p> | <p>2006年
1月 保険会社設立準備子会社アニコム インシュアランス プランニング(株) 設立
6月 anicom(動物健康促進クラブ)が関東財務局へ特定保険業者の届出
8月 中部支店開設</p> <p>2007年
12月 アニコム インシュアランス プランニング(株)からアニコム損害保険(株)へ商号変更
保険持株会社の認可
損害保険業の免許を金融庁より取得</p> | <p>2008年
1月 アニコム損害保険(株) 営業開始
6月 アニコム インターナショナル(株)からアニコム ホールディングス(株)に商号変更</p> <p>2009年
1月 オンライン加入手続開始
4月 anicom(動物健康促進クラブ)が関東財務局へ廃業届を提出</p> <p>2010年
3月 アニコム ホールディングス(株)が東証マザーズ上場</p> | <p>2014年
1月 現アニコム先進医療研究所(株) 設立
5月 東北支店開設
6月 アニコム ホールディングス(株)が東証1部に市場変更
10月 中四国支店開設</p> <p>2015年
7月 アニコム キャピタル(株) 設立
9月 アニコム先進医療研究所(株)の横浜ラボ始動</p> | <p>2016年
4月 セルトラスト・アニマル・セラピューティクス(株) 設立(アニコム ホールディングス(株)49%、富士フイルム(株)51%)</p> <p>2017年
3月 Hong Kong Anicom Company Limited (香港愛你康有限公司) 設立</p> <p>2020年
1月 (株)シムネット完全子会社化</p> <p>2021年
3月 アニコム先進医療研究所(株)がセルトラスト・アニマル・セラピューティクス(株)から再生医療事業を承継
アニコム キャピタル(株)の解散を決議</p> | <p>2022年
2月 Hong Kong Anicom Company Limited (香港愛你康有限公司) 子会社化
4月 東証の市場区分の見直しにより、プライム市場に移行
10月 アニコム パフェ(株)がアニコム フロンティア(株)を吸収合併</p> <p>2023年
3月 (株)フローエンスの株式を取得し、連結子会社化</p> |
|--|--|---|--|---|---|

創業からの基礎固め期

アニコムは2000年に日本初のペット保険会社として、「予防型保険会社」を作るという想いで創業しました。予防型保険を実現するためには、どんなペットがどんなケガや病気になったかというデータが必要です。そのため、創業からの基礎固め期においては、ペット保険の普及に向けた取組みを行ってきました。家族の証である健康保険証の発行や、その保険証を動物病院の窓口で提示することで保険金請求手続きが不要となる窓口精算システムの普及などの取組みにより、保有契約件数は2018年度末時点で75万件を突破するまでになりました。

第二期創業期

2019年度からの第二期創業期においては、ペット保険の更なる普及と進化を進めるとともに、保険事業以外のシナジー創出事業との相乗効果により、経済的価値と社会的価値を創造するCSV経営を目指しています。創業期に引き続き、ペット保険の普及に努めてきた結果、2023年度時点で保有契約件数は119万件、年間保険金請求件数は430万件を超えるまでに至りました。保険のビッグデータからケガや病気を分析することで、そもそも事故を起こさせない、健康をサポートする予防型保険会社グループへの取組みを加速させていきます。

アニコムの事業展開

保険事業



ペット保険事業

当社グループの中核事業であり、重点施策として「ペット保険の更なる収益力向上」を位置付けています。保険商品の独自性・優位性の訴求や、販売チャネルの営業力強化などを通じて、更なる収益拡大を目指すとともに、損害率改善や契約獲得コストの削減、オペレーション業務の改善により費用の削減を行い、収益力向上を目指します。



遺伝子検査事業

ブリーダーやペットショップに対して遺伝子検査を提供しています。子犬・子猫の遺伝病検査によって収益を得るとともに、遺伝病を撲滅していくことで保険金削減を狙います。さらに、一度に様々な項目を測定するパネル検査の開発・拡大を進め、繁殖効率向上などのブリーディングサポートの武器としていくことを目指します。



腸内細菌叢検査事業

どうぶつの健康チェックを目的とした腸内細菌叢検査を提供しています。保険の付帯サービスとして提供することによる保険の独自性追求や、整腸力・多様性との相関の分析によるフード事業への展開等を目指します。



健康イノベーション事業

ペット保険のビッグデータをもとに、ペットの健康維持に必要な口腔・腸内ケア商材の開発・販売を行っております。本事業自体での収益化と、健康サポートによる保険金削減を目指します。



シナジー創出事業



動物病院事業

グループ病院の拡大・プレゼンス向上による獣医療の標準化と、保険金の元となる医療費抑制効果を生み出すことを目指しています。そのため、今後も規模拡大が必要ですが、M&A結果に左右されるため、足元は規模拡大を狙いつつも、保険事業とのシナジー効果の発揮（保険契約者の送客先とするなど）のために有効活用していきます。



再生医療事業

治らない病気を治す再生医療を提供することで、収益とともに保険金削減を目指しています。収益化に向けては、①治療系（動物再生医療技術研究組合の活用）と、②予防系（健康度向上、特定疾患予防、アンチエイジングなどをグループ病院や関連会社等にて研究中）の2軸で事業を推進しています。



マッチングサービス事業

ブリーダーと飼い主候補をつなぐマッチングサイトを運営しています。マッチングサービス事業を通じて、理想の子犬・子猫を飼い主にお届けするとともに、保険、物販等を推奨することで、事業領域の拡大を目指します。



ブリーディング事業

環境エンリッチメントに配慮した子犬・子猫のブリーディング事業を行っています。食の品質や定期的な運動といった、日々の生活の質を重視したブリーディングを行うことで、元気で健康な子犬・子猫を飼い主にお届けします。

私たちアニコムグループでは、ペット保険事業において収集した膨大な疾病データをもとに、ペットの先天性疾患及び後天性疾患へのソリューションの提供を進めてきました。

具体的には、先天性疾患に対する遺伝病撲滅に向けた遺伝子検査事業のさらなる拡充、後天性疾患に対する口腔内環境及び腸内環境と健康の関係性に対する調査・分析とこれに基づく健康ソリューションの開発・提供、これまで治らないとされていた疾病への新たな選択肢を提供する再生医療事業など、どうぶつの健康と幸福を支える様々な研究やサービス提供を行ってまいりました。

AIをはじめとする情報技術の発展をこれらの研究やサービスの提供に活かすことで、世の中に新たな価値を提供し、どうぶつの笑顔を増やし続けることを目指します。



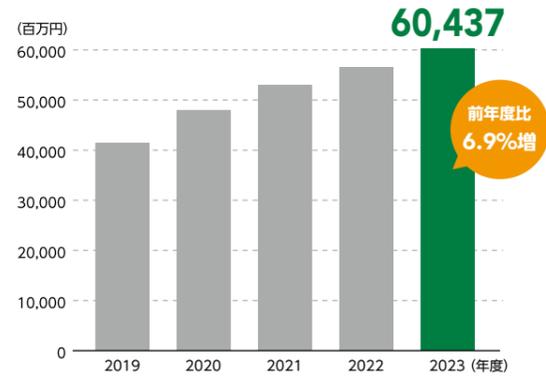
豊富なデータとデータ解析による
新たな価値創出

2030年度ビジョンの実現へ

どうぶつ業界における川上から川下までを
発展的に繋ぐインフラプレーヤーとして無限大の価値を社会に提供する

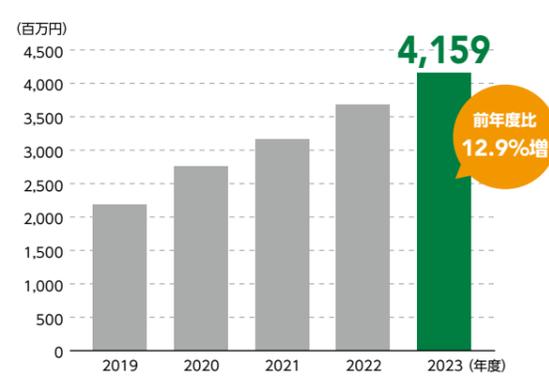
財務ハイライト

連結経常収益

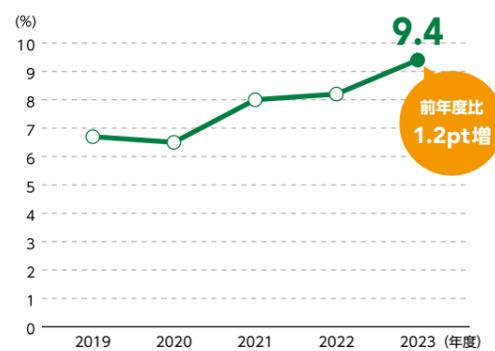


堅調なペット飼育需要をペット保険の新規契約獲得に繋げると同時に、契約獲得コストの改善等に取り組んだ結果、連結経常収益は上場以来連続の、連結経常利益は4期連続の過去最高を達成しました。

連結経常利益

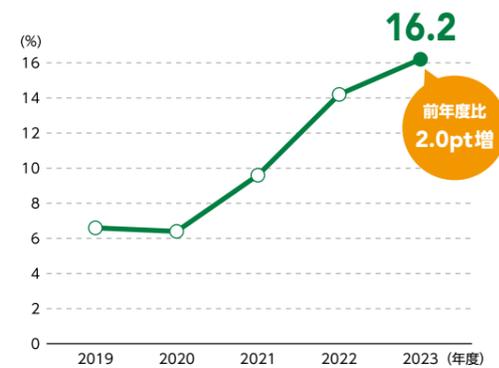


連結ROE



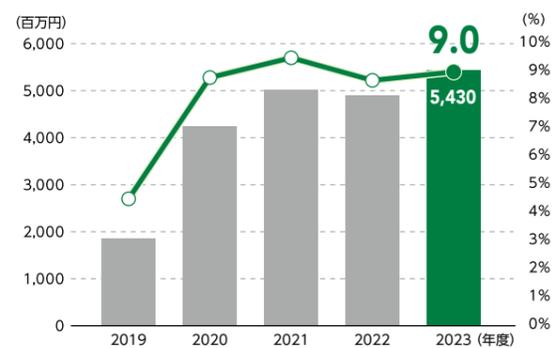
2018年度のエクイティ・ファイナンスにより下がった資本効率を改善させ、資本コストを上回る水準を達成しています。

配当性向



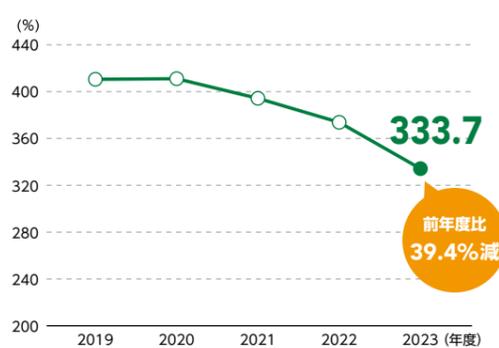
2015年度より配当を継続していますが、中期経営計画2022-2024において、配当性向を20%水準へ改善すべく段階的な増配を実施しています。

シナジー創出事業 売上高・売上高比率



ペット保険事業とのシナジー関連のある事業の拡大を目指し、M&Aの実施等も含めた売上拡大を実現しています。

単体ソルベンシーマージン比率



中期的な保険の健全性に係る規制(リスク係数等)見直しの議論が進んでいる中、今後最適な資本構成を目指していきます。

非財務ハイライト

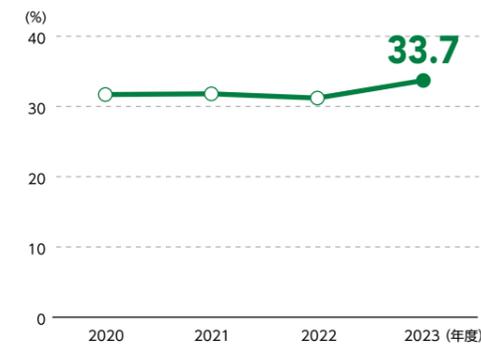
人

ジェンダーギャップの解消に向けて、積極的な女性管理職の登用や男性の育休取得の推進に取り組んでいます。

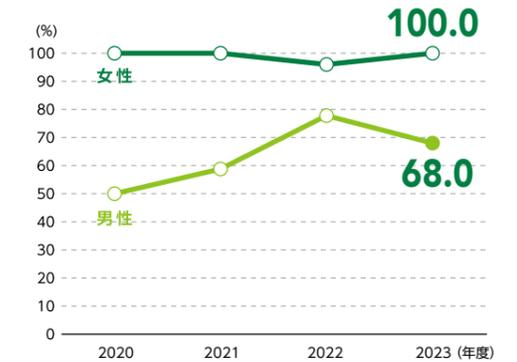
※1 算定対象は当社及び連結子会社

※2 管理職の定義は「部下を持つ職務以上の者、及び部下を持たなくともそれと同等の地位にある者」で「役員」を除く

管理職に占める女性割合



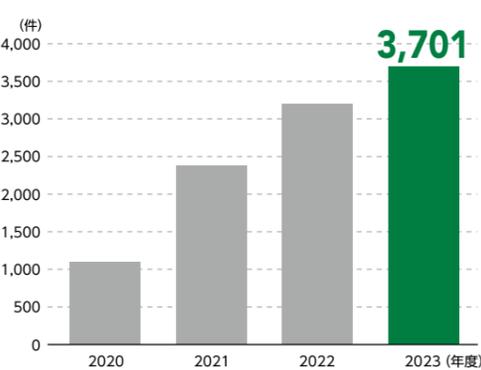
育休取得率(女性・男性)



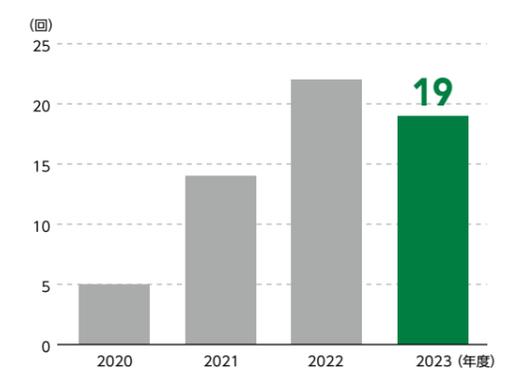
どうぶつ

ペット業界における課題である殺処分の解決に向けて、保護犬猫等の譲渡支援を行っています。

里親マッチングサイト「hugU」譲渡件数



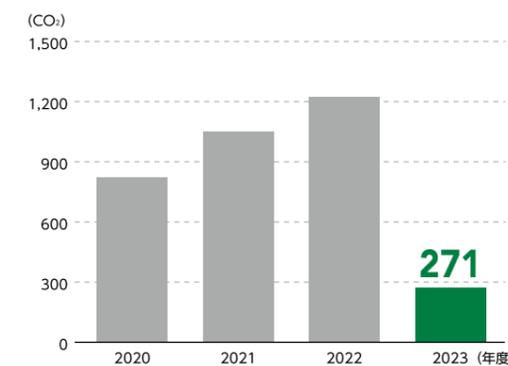
譲渡会支援回数



環境

カーボンニュートラルの実現に向けて、CO₂排出量の削減に取り組んでいきます。

Scope1+2排出量



※1 算定対象は当社及び連結子会社。6.5ガスの排出量は除く

※2 Scope1+2排出量は環境省・経済産業省が公表する電気事業者ごとの「調整後排出係数」を用いて算出

※3 2023年度は非化石証書を購入することで、Scope2の再エネ比率100%を達成

価値創造プロセス

当社は、経営資源の投入と最適化を通じて、事業戦略を遂行し、社会課題の解決に向かっています。継続的かつ持続的に価値創造が可能となるサイクルを構築し、ステークホルダーの皆様と好循環を生み出す事で、長期ビジョンの実現を目指します。



Philosophy 経営理念

ani+com=anicom アニコムグループは、それぞれの命を持つ個性の違いをお互いに尊重しあい、分業協力することで、世界中に「ありがとう」を拡大します。

Vision

2030年度ビジョン

どうぶつ業界における川上から川下までを発展的に繋ぐインフラプレーヤーとして無限大の価値を社会に提供する

強み

「アニコム」ブランドの信頼感

- ・保険契約継続率：88.2%
- ・獣医師相談、迷子捜索、オウンドメディアを通じた情報発信
- ・トルコ・シリア地震・モロッコ大地震、リビア大洪水、能登半島地震への募金・寄付

窓口精算システムによる高い顧客利便性と業務効率

- ・対応動物病院数：6,879病院
- ・保険金請求のうち窓口精算の割合：87.2%

全国をカバーする営業力と豊富なチャネル

- ・ペットショップ/ブリーダー代理店数：4,941店舗
- ・一般代理店数：8,435店舗
- ・ブリーダー、ペットショップ、WEB代理店、保険会社、銀行、地域生協など

豊富なデータとデータ解析による新たな価値創出

- ・年間430万件を超える保険金請求データ
- ・累計腸内フローラ測定申込数：約88万件
- ・累計遺伝子検査検体数：約53万件

多様な専門人材の積極的な登用

- ・獣医師免許保有者：106名
- ・医学/農学/理学/薬学博士、弁護士、公認会計士、アクチュアリー(保険数理士)、弁理士、デザイナーなど

外部環境

- ・コロナ禍における特需的な飼育需要は落ち着きを見せるが、引き続き堅調
- ・大手企業等の相次ぐペット保険業界への参入
- ・動愛法規制強化後、ブリーダーとペットショップの業態融合による流通革命の加速
- ・動物病院の通院頻度の増加と診療費単価の上昇

どうぶつ的一生を豊かに健康にするためのビジネスモデル

川上 どうぶつの

ライフステージ

生まれる前～お迎え



遺伝子

- ・遺伝子検査事業

交配 出産

- ・マッチングサイト
- ・精子バンク
- ・ブリーディング支援

ペットショップ

- ・しつけサービス提供
- ・遺伝子検査証明書の発行

川中 生活



日々の暮らし

- ・フード開発と販売
- ・他企業との連携

健康診断

- ・腸内フローラ測定事業
- ・保険新サービス付帯

一次診療(一般診療)

- ・電子カルテ拡販
- ・予約送客事業
- ・一次動物病院運営

ペット保険

川下 お別れ



二次診療(先進医療)

- ・再生医療提供
- ・二次動物病院運営

お別れ

- ・ペット霊園紹介
- ・終生飼育施設

社会的価値



- ・心と体の健康
- ・サプライチェーンの透明性の向上
- ・ペットの地位向上



- ・生きがいの提供
- ・地域活性化への貢献
- ・教育機会の公平化
- ・社会機能の強化
- ・健康とウェルビーイング



- ・環境負荷の低減
- ・生物多様性の保全

▶ P.39参照

社会的価値と
経済的価値の
両立を追求

経済的価値

- ・連結経常収益 **60,437**百万円
- ・連結経常利益 **4,159**百万円
- ・連結ROE **9.4%**
- ・株主還元 配当性向 **16.2%**
- ・シナジー創出事業売上高比率 **9.0%**
- ・アニコム損保単体ソルベンシーマージン比率 **333.7%**

ペット保険業界における当社のポジショニング

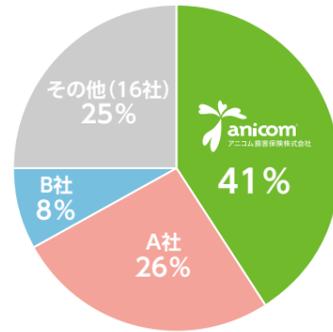
ペット保険業界の環境変化

近年、日本の15歳未満の人口は減少を続けており、約1,400万人となった一方、犬猫の飼育頭数はそれを上回る1,600万頭と推計されており、ペット業界の市場規模も2021年には1兆7,000億円へと伸長しています。また、コロナ禍やロシアによるウクライナ侵攻等により人々の不安や孤独が高まる中、人々を癒す存在としてペットの需要はますます高まっています。その結果、保険市場においてペット保険がとりわけ注目されるようになり、主要な保険会社による参入が相次ぐことになりました。

このような中、アニコム損保では2009年から2023年までの15年連続で国内マーケットシェアNo.1*を維持し続けています。その理由は、以下の競争優位性にあると考えています。

*ペット保険会社のディスクロージャー誌、決算公告、及び(株)富士経済2024年 ペット関連市場マーケティング総覧等から当社推計
*2023年度から算出方法変更

ペット保険の各社シェア
(保険料ベース (概算))



当社の競争優位性「保険事業を通じて安定的に利益を生み出す仕組み」

顧客利便性・業務効率性

窓口精算システムは人の健康保険と同様、窓口で保険証を提示すれば自己負担分を支払うだけで済む仕組みで、全国の動物病院の半数以上の約6,800病院で利用可能です。少額かつ高頻度利用されるペット医療の特性に合わせ、保険の使いやすさを重視したアニコム損保最大の強みです。もし窓口精算ができなくても、郵送などの手間を必要とせず手続きできる「LINE」による保険金請求を日本で初めて導入したことにより、さらに保険の利便性を高めています。

また、1件ずつ振込手数料・郵送料・査定等のコストがかかる従来型の郵送請求に比べ、窓口精算システムでは、事務コストを大幅に圧縮することが可能です。年間430万件超の保険金請求件数のうち約9割が窓口精算によるもので、高い業務効率性を実現しています。

独自性

アニコム損保独自のサービスとして、ペット保険の契約者に対して、腸内細菌叢測定サービス「どうぶつ健活」を提供しています。当社グループが培ってきた数万件に及ぶ腸内細菌叢の研究データと保険金統計から得られた疾病データを基に独自指標を作成し、ペットの病気のリスクを判定します。「高リスク」と判定された場合には指定の動物病院で無料健康診断を受診できる、保険業界初、独自のサービスです。

営業力

アニコム損保の主力のチャネルは新生児を対象とした「NB (New Born) チャネル」です。全国の主要なペットショップやブリーダーと代理店契約を結んで4,900を超える店舗で募集を行える環境を整え、年間新規契約の約8割をNBチャネルから獲得しています。また、すでに飼育されている犬、猫、鳥、うさぎ、フェレットを対象とした「一般チャネル」では、アニコム損保HPでのオンライン契約はもちろん、WEB代理店での販売や、金融機関における窓口販売も行っています。

他社との協業を通じた価値創造

アニコムグループではアニコム損保において大手生損保や他業種との協業を進めております。これは、ペット業界が他の業界との垣根を超えた産業連関を実現しつつあるフェーズにあるとともに、ペットが顧客とのリレーションキーとして、ビジネス上、重要な役割を有していることを意味しており、社会に新たな価値を生み出すことが期待されている表れだと考えています。

「趣味」の業界から「価値創造」を行う業界へと変貌を遂げる中で、グループ全体で本取組みを更に推進してまいります。

「予防」を軸としたグループ戦略の推進

「ペットが病気をせず、長く健康に暮らしたい」

これは多くの飼い主様の切なる願いではないでしょうか。アニコムグループでは、歯周病予防による口腔ケアや腸内細菌の多様性向上による腸内ケアを推進することで、免疫力の向上を通じて、様々な疾病に罹患するリスクを下げる健康ソリューションを提供いたします。予防を日常の中に位置づけることで重篤な疾病を避け、ペットの健康寿命の延伸を実現することを目指します。*詳細は「特集 シナジー創出事業 (P.29)」を参照。



世界最大規模*の「がん予防プロジェクト」はじまる！

これまで人類は、病気の「診断」に対する「治療」を行ってきましたが、当社グループでは、今後は「予防」に力を注ぐべきであると考えています。その一環として、口腔ケアを通じた『がんを含む全ての疾病予防に係る共同研究』を2024年7月20日から開始しました。プロジェクトの詳細は、7月20日付「第78回 NPO法人日本口腔科学会学術集会」発表資料をご参照ください。
*世界最大規模：ペット保険創業16年間で、犬の累計契約頭数206万頭、診療データ3,752万件（動物病院12,201軒）、腸内細菌叢検査の累計検体507,436件（うち歯周病関連菌調査対象170,886件）。2024年7月当社調べ。

<https://www.anicom.co.jp/news-release/2024/20240723/>



「予防」に対する当社グループの考え方

生物は無限の環境の変化に対し有限の力で対抗してきました。すなわち、生物は交配により、生命の設計図ともいわれるDNAの塩基配列 (ATGC) を無限に組み合わせ、子どもに夢を託してきました。

世界最古の法典といわれるハンムラビ法典にも近親交配を禁ずる記載が存在するように、近親交配は太古の昔から、根源的な禁忌行為とされてきました。それに関わらず、人類は1万年もの間ペットに近親交配を強い続けてきました。その結果、ペットは遺伝的に脆弱な「一人で生きる力0%、愛し愛される力100%の愛の塊」となりました。

ブリーディングでの最適な交配を行うことにより、遺伝子等の先天的要因で発症する疾病の発症を避け得るようになりましたが、それでもペットの疾病をゼロにすることは難しく、後天的要因に起因する疾病の予防も重要な課題であると考えています。ペットは、若齢からがんを含むほぼ全ての疾病にヒトよりも高確率で罹患します。ヒトにおける疾病の原因として、食事、飲酒、喫煙、人間関係のストレス等様々な交絡因子が挙げられますが、ペットはヒトより強く食事の影響を大きく受けています。

当社グループの研究で、犬の腸内細菌の多様性が低いほど全ての疾病の有病率が高いことが明らかになっています。全ての疾病に確率的に関与しているということは、「腸内細菌の多様性が『免疫力』の一部を構成するものと言える」と当社グループでは考えています。つまり、腸内細菌の多様性を維持・向上させることが「予防」のために重要な要素となります。

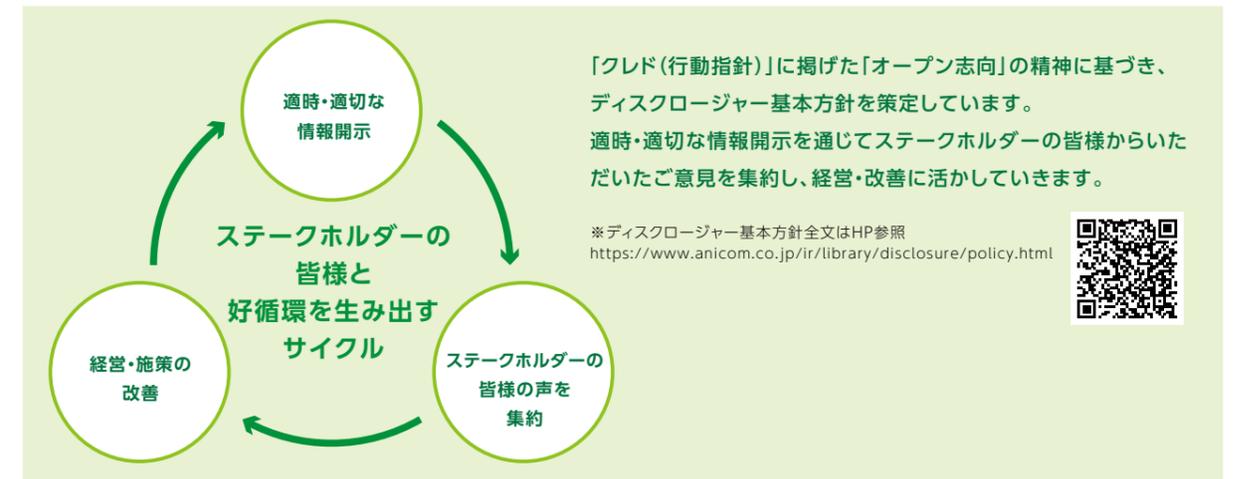
腸内細菌の多様性に影響を与える要因として、食事が挙げられます。多様な食べ物を取り入れることで、腸内細菌の多様性を向上させることが可能です。また、その他に歯周病の影響が挙げられます。歯周病に罹患すると、翌年の腸内細菌の多様性が低下することが明らかになっています。「歯周病は万病の元」といわれる通り、犬の全ての年齢で全ての疾病の有病率を引き上げています。

当社グループでは、多様な食事を通じ腸内細菌の多様性を向上させるとともに、歯周病への対策を通じ腸内細菌の多様性を低下させないようにすることで、がんを含む全ての疾病の「予防」を推進してまいります。

*詳細は「特集 シナジー創出事業 (P.29)」を参照。

ステークホルダーリレーション

当社は20年超の知見や119万件以上のご契約を有するペット業界のリーディングカンパニーとして、業界の健全な発展に寄与する責務があると考え、その責務を果たすためにステークホルダーの皆様とのエンゲージメントを通じて、企業価値及び社会的価値の向上に努め、人間とどうぶつが幸せに共生する社会の実現を目指します。



ステークホルダーから期待される事/果たすべき責任

ステークホルダーの期待に応え、責任を果たす為の仕組み

<p>お客様</p> 	<p>当社グループは、「常にお客様の視点に立ち、お客様の求めるサービスを創り出すマーケットアウト(お客様の真のニーズにお応えすること)を意識した経営を徹底し、お客様の願いを実現するとともに、新しい価値を創造することに努める」ことを行動指針に掲げ、全従業員一丸となり、その実現に向けまい進しています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 1 お客様の声を経営に活かす取組み 全苦情件数14,585件、保有契約件数に対する苦情発生率1.2%、ミニマーケットアウト部会開催回数3回 2 お客様にふさわしい商品・サービスの提供 3 わかりやすい情報の提供 4 迅速かつ適切な保険金のお支払い 5 利益相反の適切な管理 6 お客様本位の業務運営に向けた取組み
<p>株主・投資家</p> 	<p>積極的かつ効果的な情報開示及び説明責任を果たし、株主・投資家の皆様との信頼関係を構築すること、情報開示における適時性と公平性を図り、当社の企業価値を正しく反映した適正な株価の形成、社会的評価の形成を図ること、双方向コミュニケーションを通じ、株主・投資家の皆様の声を経営にフィードバックし、企業価値の向上に役立てることを目指しています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 1 機関投資家・アナリスト向け決算・事業戦略説明会(4回) 2 国内外の投資家に対する個別面談(146回)の実施 3 株主総会における株主との対話や、議決権行使に向けた働きかけ 4 WEBサイトやディスクロージャー資料による適切な情報開示
<p>パートナー</p> 	<p>ブリーダー、ペットショップ、動物病院といった様々な取引先企業様は、ともに価値を生み出す大切なパートナーと考え、ペット業界をよりサステナブルな業界に変革すべく、協働して動物愛護・動物福祉の向上に取り組むとともに、信頼に基づく公平・公正な取引を推進しています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 1 ブリーディングサポートの提供 2 保険責任者・保険キーパーソン制度 3 公平・公正な取引に向けた監査の実施
<p>従業員</p> 	<p>すべての社員が人と人との繋がりを尊重し、その繋がりに多くのことを学ぶことによって自らの成長を日々促進させ、企業の成長及び社会の発展に寄与していくことを目的として、ダイバーシティを推進しています。また、常にオープンで公平な教育機会を提供し、個々の能力や適性を尊重しながら互いに協力し、自由に競い合うことで加速度的な成長を遂げることを目的とし、人材教育・能力開発に努めています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 1 定期的な従業員エンゲージメント調査の実施 2 社内報「アニコムダイアリー」「アニコスマイル」の発行 3 グループ全体参加の朝会を週次で実施
<p>地域社会</p> 	<p>地域社会の一員として、全国の自治体等と連携・協働し、動物愛護や防災といったテーマで社会課題の解決に向けた取組みを行っています。また、気候変動や社会課題の解決に向けて、カーボンニュートラルへの取組みを推進しています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 1 全国の自治体と連携・協働し、動物愛護等に向けた取組みを実施 協定締結自治体数 5自治体 2 CO₂排出量のネットゼロ達成に向けた取組みの推進 Scope1+2排出量 271t-CO₂